

たてしん通信

004号



第4回たてしん杯争奪安房都市少年野球大会開会式



『千葉県PRマスコットキャラクター チーバくん』



ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 933号

令和 4年 7月15日



地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



役員の変動について

非常勤監事 安田 三千代（南房総市白浜町出身）



昭和52年4月 城南信用金庫入庫
平成29年6月 副理事長就任
平成30年6月 常勤顧問就任
令和 4年6月 館山信用金庫非常勤監事就任

メッセージ： このたび、館山信用金庫非常勤監事に就任いたしました、安田三千代と申します。地域の皆様の笑顔の実現のために「困っている人を助けることが信用金庫の使命」をモットーに全力で取り組んで参ります。



後列左から

非常勤監事 安田 三千代、非常勤監事 早野 喜良、非常勤理事 村松 智子、非常勤理事 立川 久代、非常勤理事 本間 亨

前列左から

常勤監事 富永 剛実、常勤理事 高梨 良雄、理事長 利田 秀男、専務理事 渡邊 文雄、常勤理事 北 浩栄、常勤理事 今井 勝己

なお、非常勤監事 岡山 吉久は退任いたしました。在任中賜りましたご厚情に対し、心より御礼申し上げます。

たてしん中小企業景況レポート No.18

令和4年(2022年)4月～6月

編集・発行：館山信用金庫
支援部
TEL:0470-29-3015



地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

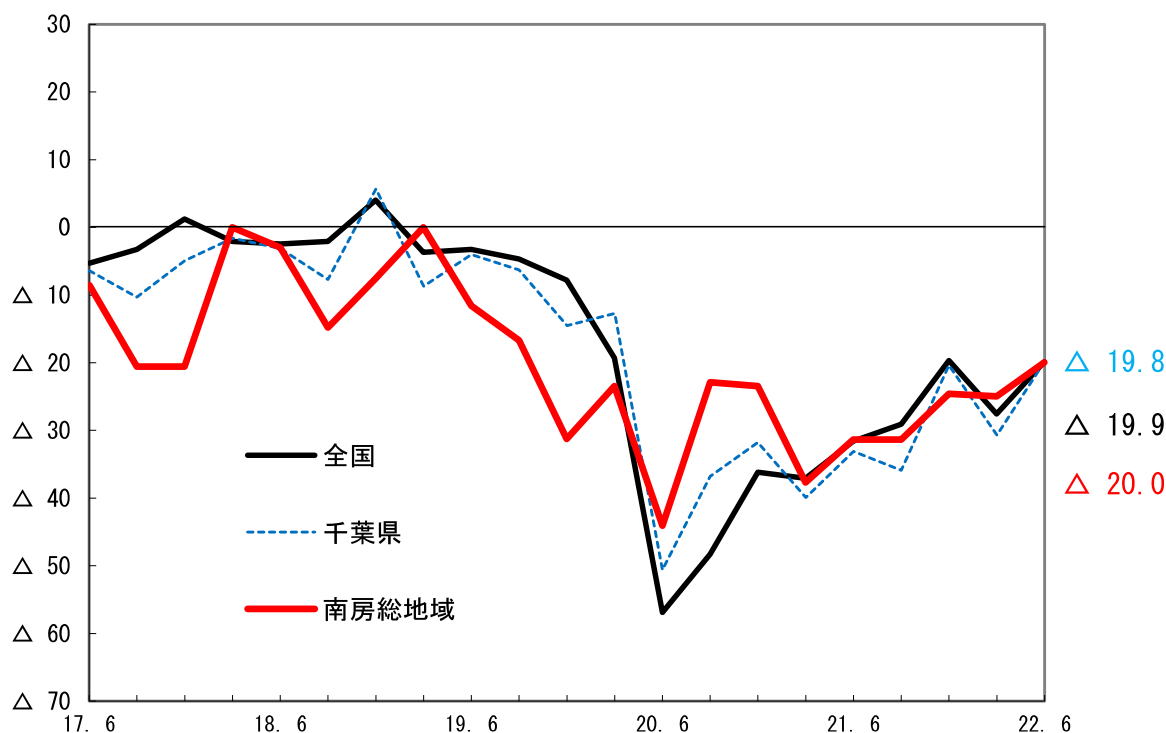
<概況>

令和4年(2022年)4～6月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 19.9$ 、前期に比べ7.7ポイントの増加となった。

なお、今回の業況判断D.I.は、前回調査時における今期見通し($\Delta 24.8$)を4.9ポイント上回った。 ※業況判断D.I.(「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)

D.I.

業況判断D.I.の推移



千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 19.8$ と、前期に比べ10.9ポイントの増加となった。
南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 20.0$ と、前期に比べ5.0ポイントの増加となった。

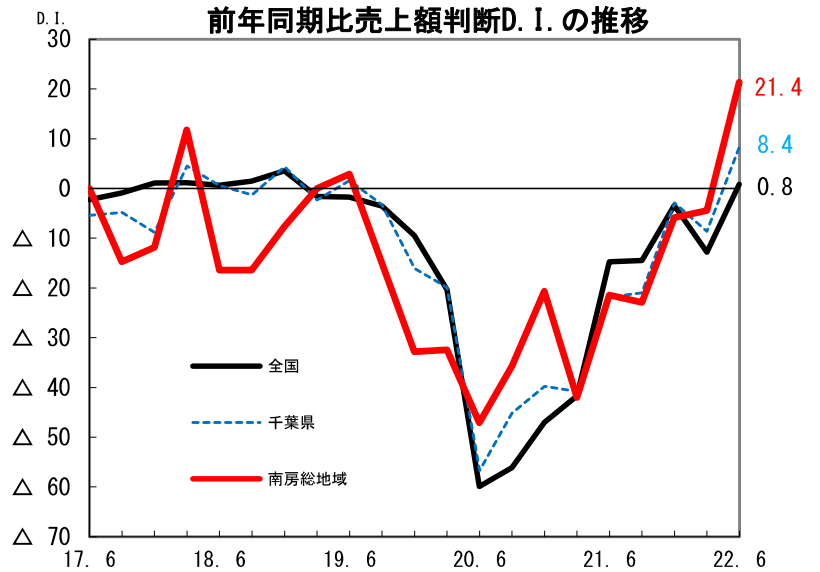
※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

(全国・千葉・南房総)
売上は増加傾向

全国の前年同期比売上額判断D.I.は0.8と前期比13.6ポイント改善となった。

南房総地域では、21.4と前期比25.8ポイントの大幅な改善となった。

※売上額判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）

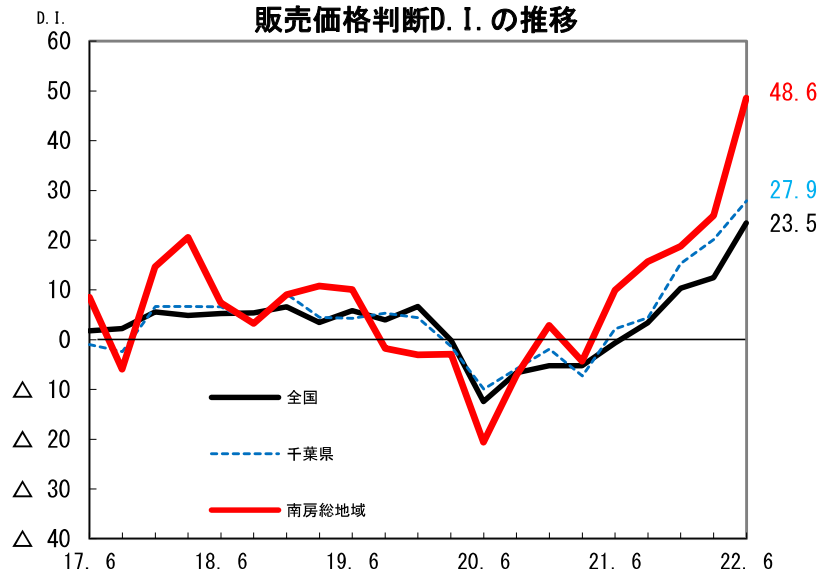


(全国・千葉・南房総)
販売価格は増加傾向

全国の販売価格判断D.I.は23.5と前期比11.0ポイント増加となった。

南房総地域では、48.6と前期比23.6ポイント増加となった。

※販売価格判断D.I.（「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇）

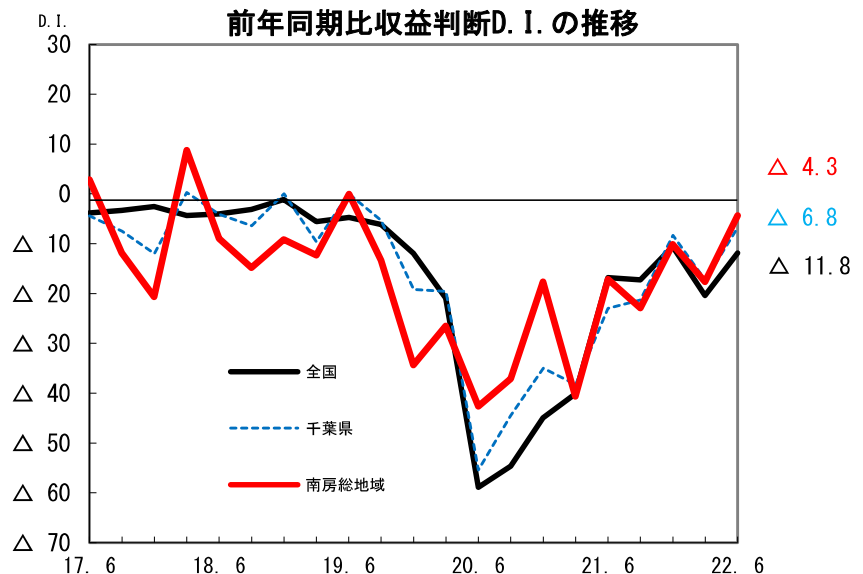


(全国・千葉・南房総)
収益は改善傾向

全国の前年同期比収益判断D.I.は△11.8と前期比8.6ポイント改善となった。

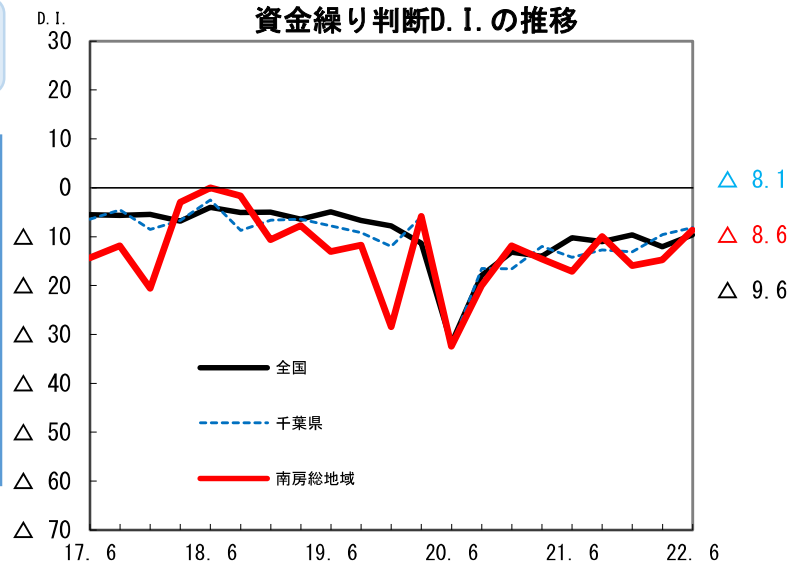
南房総地域では、△4.3と前期比13.3ポイント改善となった。

※収益判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



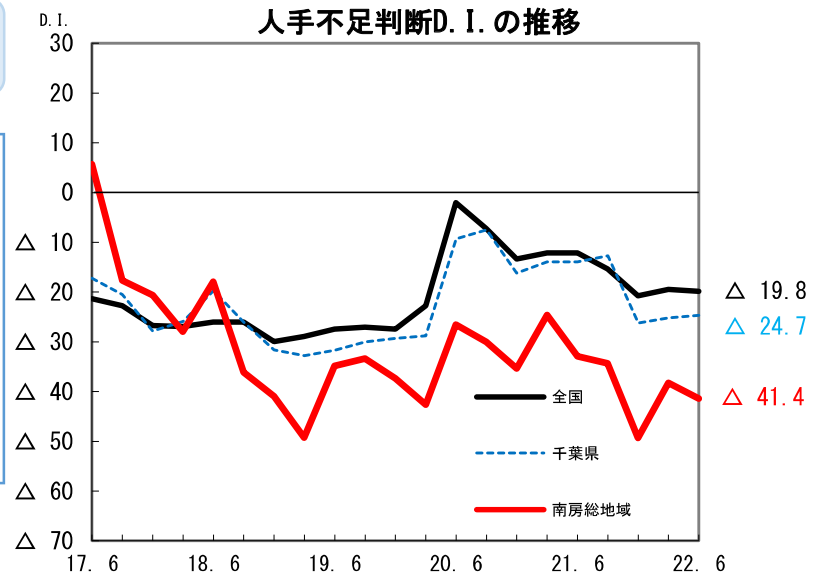
(全国・千葉・南房総)
資金繰りは改善傾向

全国の資金繰り判断D.I.は△9.6と前期比2.4ポイント改善となった。
南房総地域では、△8.6と前期比6.1ポイント改善となった。
※資金繰り判断D.I.（「楽(らく)」と回答した割合から「厳しい」と回答した割合の差、プラスほど良い）



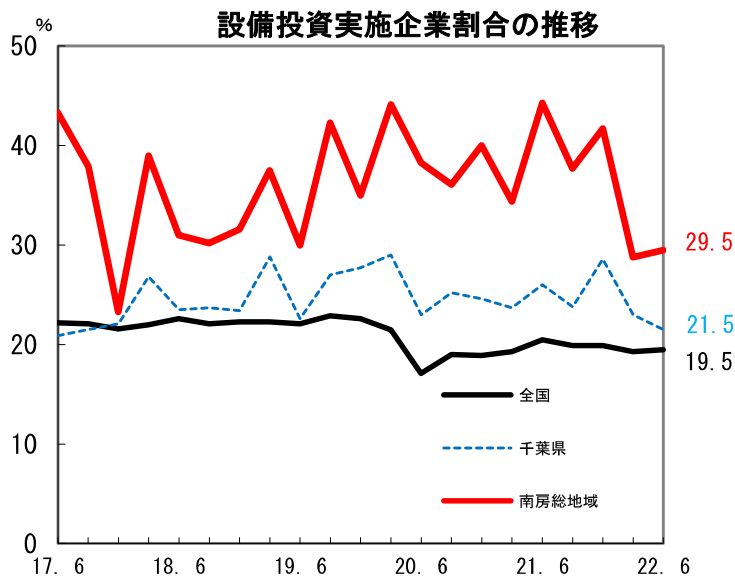
(南房総)
人手不足感は悪化傾向

全国の人手過不足判断D.I.は△19.8と前期比0.4ポイント悪化となった。
南房総地域では、△41.4と前期比3.2ポイント悪化となった。
※人手過不足判断D.I.（「過剰」と回答した割合から「不足」と回答した割合の差、マイナスほど人手不足）



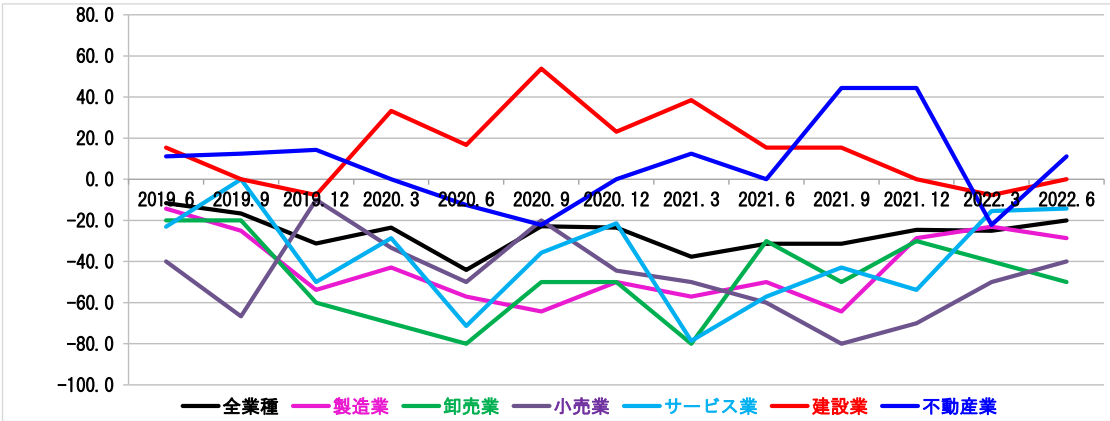
(全国・南房総)
設備投資は横ばい

全国の設備投資実施企業割合は19.5%と前期比0.2ポイント増加となった。
南房総地域では29.5%と前期比0.7ポイントの増加となった。
※設備投資実施企業割合（設備投資を実施した企業の割合）



主要項目時系列表

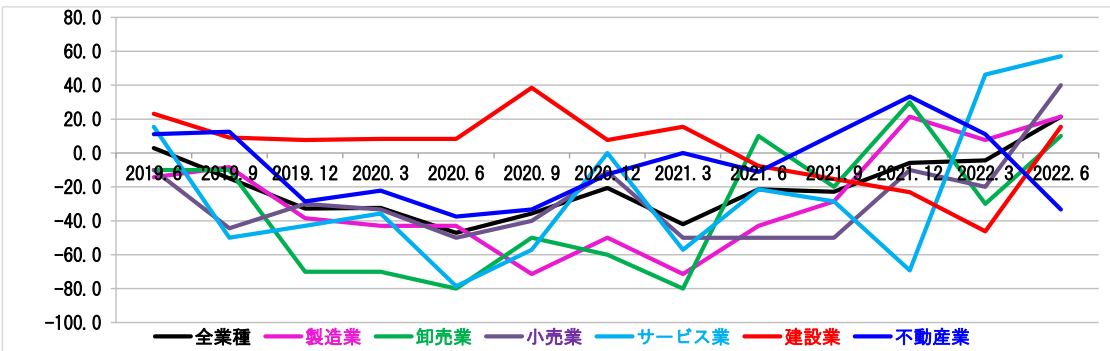
業況判断 D.I



区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9
全業種	-11.6	-16.7	-31.3	-23.5	-44.1	-22.9	-23.5	-37.7	-31.4	-31.4	-24.6	-25.0	-20.0	-17.1
製造業	-14.3	-25.0	-53.8	-42.9	-57.1	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-28.6	-23.1	-28.6	-42.9
卸売業	-20.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0	-50.0	-30.0
小売業	-40.0	-66.7	-10.0	-33.3	-50.0	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0	-20.0
サービス業	-23.1	0.0	-50.0	-28.6	-71.4	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-15.4	-14.3	-7.1
建設業	15.4	0.0	-7.7	33.3	16.7	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	-7.7	0.0	0.0
不動産業	11.1	12.5	14.3	0.0	-12.5	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	44.4	-22.2	11.1	0.0

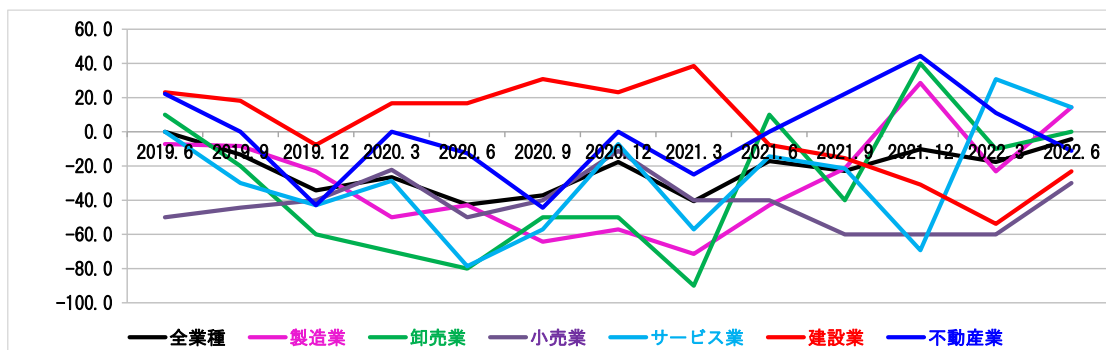
※ 2022.9は、見通しである。

売上額判断 D.I (前年同期比)



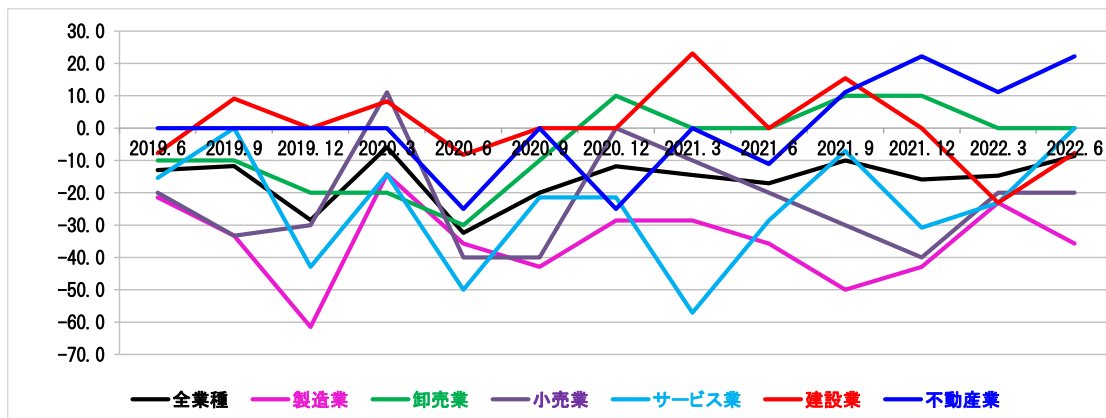
区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
全業種	2.9	-15.0	-32.8	-32.4	-47.1	-35.7	-20.6	-42.0	-21.4	-22.9	-5.8	-4.4	21.4
製造業	-14.3	-8.3	-38.5	-42.9	-42.9	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6	21.4	7.7	21.4
卸売業	-10.0	-10.0	-70.0	-70.0	-80.0	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	30.0	-30.0	10.0
小売業	-10.0	-44.4	-30.0	-33.3	-50.0	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	-20.0	40.0
サービス業	15.4	-50.0	-42.9	-35.7	-78.6	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	46.2	57.1
建設業	23.1	9.1	7.7	8.3	8.3	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-46.2	15.4
不動産業	11.1	12.5	-28.6	-22.2	-37.5	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	33.3	11.1	-33.3

収益判断 D.I (前年同期比)



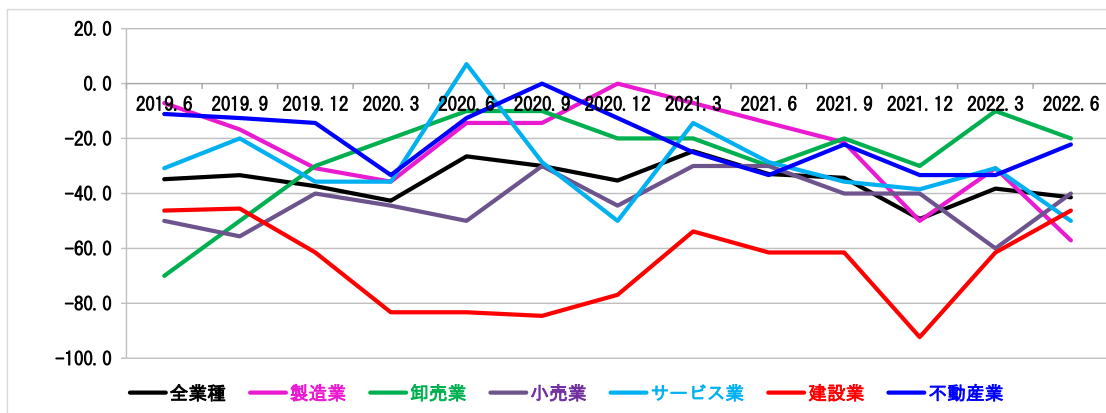
区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
全業種	0.0	-13.3	-34.3	-26.5	-42.6	-37.1	-17.6	-40.6	-17.1	-22.9	-10.1	-17.6	-4.3
製造業	-7.1	-8.3	-23.1	-50.0	-42.9	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	-23.1	14.3
卸売業	10.0	20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-90.0	10.0	-40.0	40.0	-10.0	0.0
小売業	-50.0	-44.4	-40.0	-22.2	-50.0	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	-60.0	-30.0
サービス業	0.0	-30.0	-42.9	-28.6	-78.6	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	30.8	14.3
建設業	23.1	18.2	-7.7	16.7	16.7	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	-53.8	-23.1
不動産業	22.2	0.0	-42.9	0.0	-12.5	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	44.4	11.1	-11.1

資金繰り判断 D.I (楽-苦)



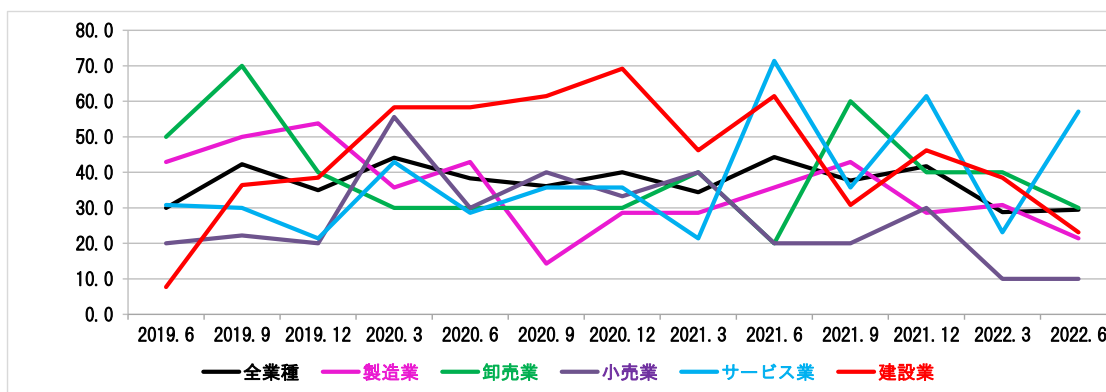
区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
全業種	-13.0	-11.7	-28.4	-5.9	-32.4	-20.0	-11.8	-14.5	-17.1	-10.0	-15.9	-14.7	-8.6
製造業	-21.4	-33.3	-61.5	-14.3	-35.7	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	-23.1	-35.7
卸売業	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
小売業	-20.0	-33.3	-30.0	11.1	-40.0	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	-20.0	-20.0
サービス業	-15.4	0.0	-42.9	-14.3	-50.0	-21.4	-21.4	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8	-23.1	0.0
建設業	-7.7	9.1	0.0	8.3	-8.3	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	-23.1	-7.7
不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	22.2	11.1	22.2

人手不足判断 D.I (過剰-不足)



区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
全業種	-34.8	-33.3	-37.3	-42.6	-26.5	-30.0	-35.3	-24.6	-32.9	-34.3	-49.3	-38.2	-41.4
製造業	-7.1	-16.7	-30.8	-35.7	-14.3	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	-30.8	-57.1
卸売業	-70.0	-50.0	-30.0	-20.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0	-20.0
小売業	-50.0	-55.6	-40.0	-44.4	-50.0	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	-60.0	-40.0
サービス業	-30.0	-20.0	-35.7	-35.7	7.1	-28.6	-50.0	-14.3	-20.0	-35.7	-38.5	-30.8	-50.0
建設業	-46.2	-45.5	-61.5	-83.3	-83.3	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	-61.5	-46.2
不動産業	-11.1	-12.5	-14.3	-33.3	-12.5	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-22.2

設備投資実施企業割合 (%)

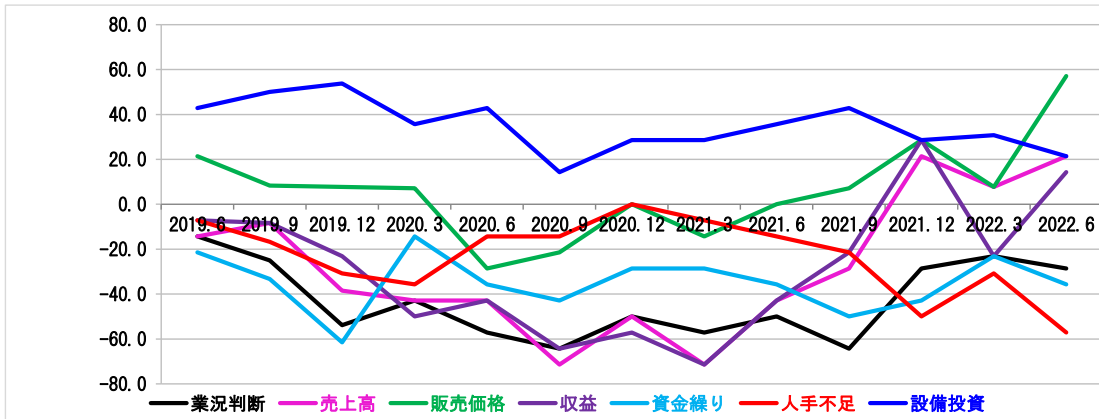


区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
全業種	30.0	42.3	35.0	44.1	38.3	36.1	40.0	34.4	44.3	37.7	41.7	28.8	29.5
製造業	42.9	50.0	53.8	35.7	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	28.6	30.8	21.4
卸売業	50.0	70.0	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	30.0
小売業	20.0	22.2	20.0	55.6	30.0	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0
サービス業	30.0	30.0	21.4	42.9	28.6	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	61.5	23.1	57.1
建設業	7.7	36.4	38.5	58.3	58.3	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	46.2	38.5	23.1

※ 不動産業は、調査対象外である。

業種別時系列表

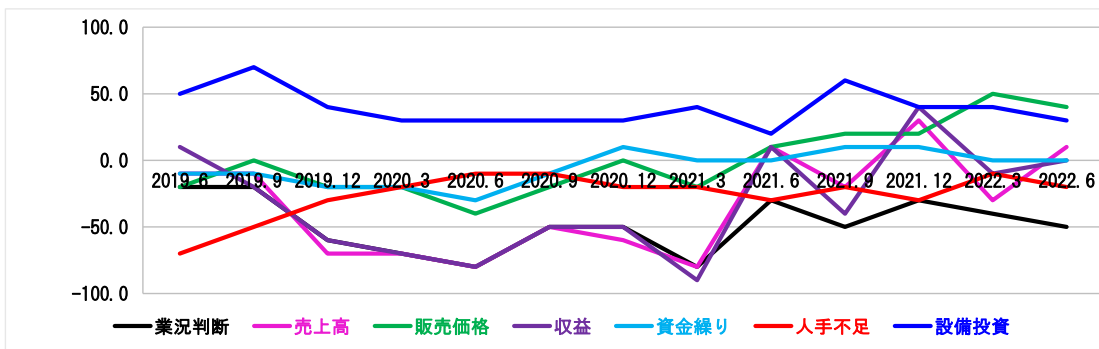
製造業



区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9
業況判断	-14.3	-25.0	-53.8	-42.9	-57.1	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-28.6	-23.1	-28.6	-42.9
売上高	-14.3	-8.3	-38.5	-42.9	-42.9	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6	21.4	7.7	21.4	
販売価格	21.4	8.3	7.7	7.1	-28.6	-21.4	0.0	-14.3	0.0	7.1	28.6	7.7	57.1	
収益	7.1	-8.3	-23.1	-50.0	-42.9	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	-23.1	14.3	
資金繰り	-21.4	-33.3	-61.5	-14.3	-35.7	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	-23.1	-35.7	
人手不足	-7.1	-16.7	-30.8	-35.7	-14.3	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	-30.8	-57.1	
設備投資	42.9	50.0	53.8	35.7	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	28.6	30.8	21.4	

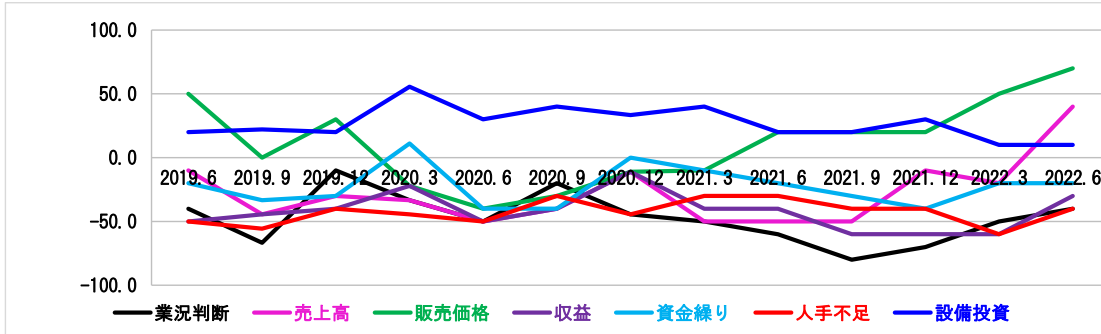
※ 2022.9は、見通しである。

卸売業



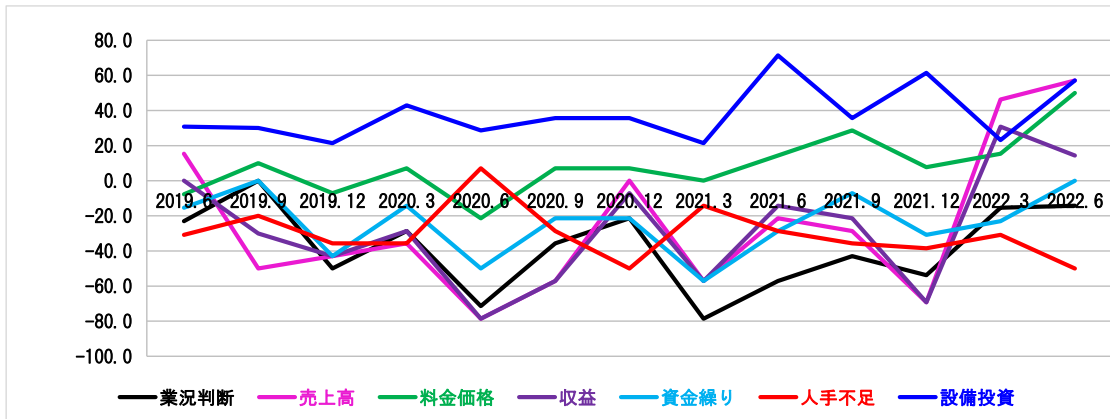
区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9
業況判断	-20.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0	-50.0	-30.0
売上高	-10.0	-10.0	-70.0	-70.0	-80.0	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	30.0	-30.0	10.0	
販売価格	-20.0	0.0	-20.0	-20.0	-40.0	-20.0	0.0	-20.0	10.0	20.0	20.0	50.0	40.0	
収益	10.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-90.0	10.0	-40.0	40.0	-10.0	0.0	
資金繰り	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	
人手不足	-70.0	-50.0	-30.0	-20.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0	-20.0	
設備投資	50.0	70.0	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	30.0	

小売業



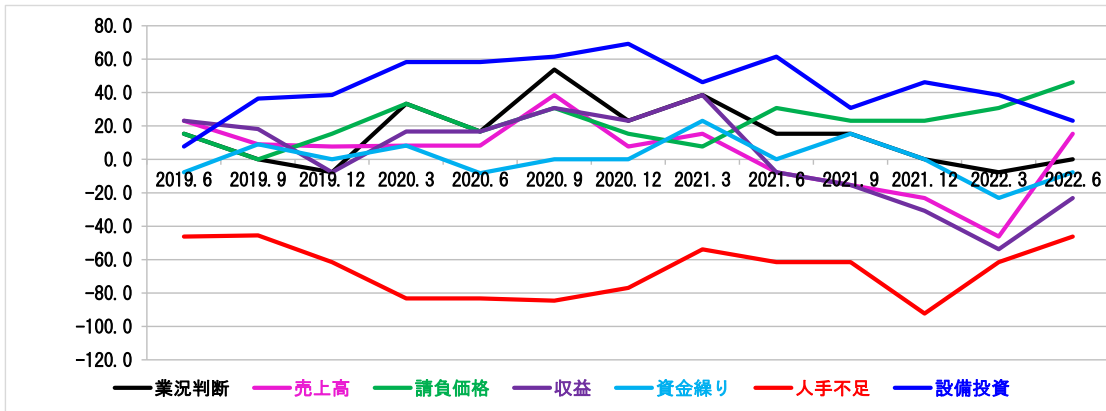
区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9
業況判断	-40.0	-66.7	-10.0	-33.3	-50.0	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0	-20.0
売上高	-10.0	-44.4	-30.0	-33.3	-50.0	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	-20.0	40.0	
販売価格	50.0	0.0	30.0	-22.2	-40.0	-30.0	-11.1	-10.0	20.0	20.0	20.0	50.0	70.0	
収益	-50.0	-44.4	-40.0	-22.2	-50.0	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	-60.0	-30.0	
資金繰り	-20.0	-33.3	-30.0	11.1	-40.0	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	-20.0	-20.0	
人手不足	-50.0	-55.6	-40.0	-44.4	-50.0	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	-60.0	-40.0	
設備投資	20.0	22.2	20.0	55.6	30.0	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	

サービス業



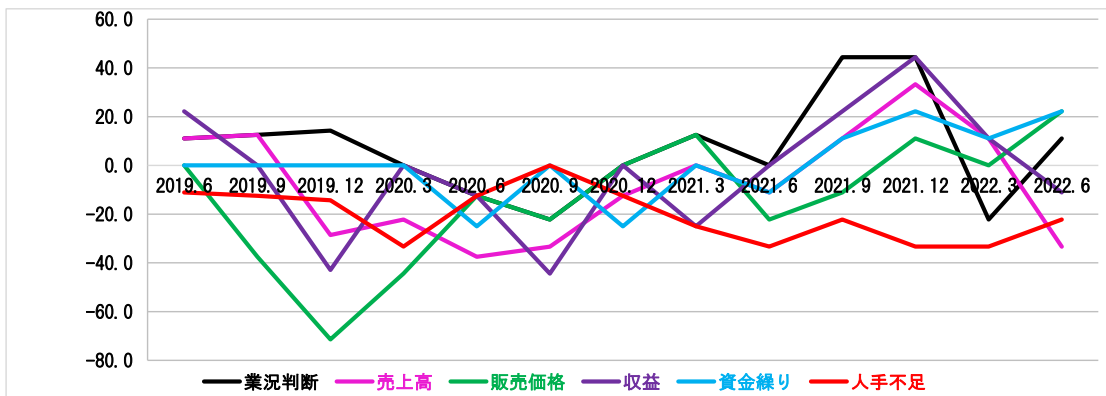
区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9
業況判断	-23.1	0.0	-50.0	-28.6	-71.4	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-15.4	-14.3	-7.1
売上高	15.4	-50.0	-42.9	-35.7	-78.6	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	46.2	57.1	
料金価格	-7.7	10.0	-7.1	7.1	-21.4	7.1	7.1	0.0	14.3	28.6	7.7	15.4	50.0	
収益	0.0	-30.0	-42.9	-28.6	-78.6	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	30.8	14.3	
資金繰り	-15.4	0.0	-42.9	-14.3	-50.0	-21.4	-21.4	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8	-23.1	0.0	
人手不足	-30.8	-20.0	-35.7	-35.7	7.1	-28.6	50.0	-14.3	-28.6	-35.7	-38.5	-30.8	-50.0	
設備投資	30.8	30.0	21.4	42.9	28.6	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	61.5	23.1	57.1	

建設業



区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9
業況判断	15.4	0.0	-7.7	33.3	16.7	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	-7.7	0.0	0.0
売上高	23.1	9.1	7.7	8.3	8.3	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-46.2	15.4	
請負価格	15.4	0.0	15.4	33.3	16.7	30.8	15.4	7.7	30.8	23.1	23.1	30.8	46.2	
収益	23.1	18.2	-7.7	16.7	16.7	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	-53.8	-23.1	
資金繰り	7.7	9.1	0.0	8.3	-8.3	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	-23.1	-7.7	
人手不足	-46.2	-45.5	-61.5	-83.3	-83.3	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	-61.5	-46.2	
設備投資	7.7	36.4	38.5	58.3	58.3	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	46.2	38.5	23.1	

不動産業



区分	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9
業況判断	11.1	12.5	14.3	0.0	-12.5	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	44.4	-22.2	11.1	0.0
売上高	11.1	12.5	-28.6	-22.2	-37.5	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	33.3	11.1	-33.3	
販売価格	0.0	-37.5	-71.4	-44.4	-12.5	-22.2	0.0	12.5	-22.2	-11.1	11.1	0.0	22.2	
収益	22.2	0.0	-42.9	0.0	-12.5	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	44.4	11.1	-11.1	
資金繰り	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	
人手不足	-11.1	-12.5	-14.3	-33.3	-12.5	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-22.2	

※ 設備投資は、調査対象外である。

たてしん中小企業景況レポート No. 18 特徴等

(令和4年(2022年)4月~6月)

◆業況判断D. I. ◆

業況判断D. I.を見ると、全国では前期比7.7ポイント改善の△19.9、千葉県では前期比10.9ポイント改善の△19.8、南房総地域においても前期比5.0ポイント改善の△20.0という結果になりました。今回の調査は原材料価格の高騰等が引き続き懸念される6月上旬の調査でしたが、**全国、千葉県、南房総ともに業況改善**となり、水準は**全国、千葉県、南房総地域がほぼ同水準**となりました。

次期の予想業況判断D. I.を見ると、全国△18.9(今期比+1.0)、千葉県△13.6(今期比+6.2)、南房総地域△17.1(今期比+2.9)と、**次期については全国と千葉県、南房総地域すべてにおいて依然マイナスの水準ではありますが、引き続き改善**が見込まれています。

◆南房総地域の業況判断D. I. (前期比) ◆

南房総地域の業況判断D. I.の業種別では、小売業△40.0(前期比+10.0)、サービス業△14.3(前期比+1.1)、建設業0.0(前期比+7.7)、不動産業11.1(前期比+33.3)と、6業種中4業種が改善傾向となり、**前回マイナスに転じていた建設業は±0に、不動産業はプラスに回復**しました。

一方、製造業は△28.6(前期比△5.5)、卸売業は△50.0(前期比△10.0)と悪化傾向になり、製造業は資源・資材価格の高騰や供給不足の長期化、卸売業では仕入価格の高騰等が悪化の要因となったと推測されます。

◆南房総地域の次期の見込み ◆

次期の見込みについては、業種別では卸売業・小売業・サービス業が改善を見込んでいる一方、建設業が横ばい、製造業・不動産業が悪化を見込んでいます。特に**製造業は△42.9(今期比△14.3)**と、**6業種中で最も低水準かつ悪化幅が大きくなっており**、要因としては資源・資材価格の高騰や供給不足の長期化に加え、人手不足によるものと推測されます。

◆売上額判断D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の売上額判断D. I.は2019年6月期以降3年ぶりにプラスとなりました。業種別で見ると、製造業21.4、卸売業10.0、小売業40.0、サービス業57.1、建設業15.4と**5業種において増加**しており、不動産業のみ△33.3と減少となりました。

サービス業については、前回調査時に続き、大きくプラスの水準となりましたが、南房総地域におけるサービス業は飲食・宿泊業が中心であるため、3年ぶりに行動制限のないGWになったこと、また、県民割の実施による観光客需要があったこと、更に前年同時期には、まん延防止等重点措置が発令されていたことなどが、対前年同期比で見た場合の増加要因であると考えられます。

◆収益判断D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

収益判断D. I.を業種別で見ると、製造業14.3、卸売業0.0、小売業△30.0、サービス業14.3、建設業△23.1、不動産業△11.1となりました。

小売業、建設業は売上が増加し、収益も改善されているものの依然としてマイナス水準にあり、原材料・仕入価格の高騰等に対し、十分な価格転嫁が出来ていないことが考えられます。一方、不動産業は**売上、収益ともに悪化**しており、顧客の買い控え等の影響が考えられます。

◆資金繰り判断 D. I. (南房総地域)◆

資金繰り判断 D. I. を業種別で見ると、サービス業 0.0 (前期比+23.1)、建設業△7.7 (前期比+15.4)、不動産業 22.2 (前期比+11.1) の**3業種で改善**となりました。

その他の3業種は、卸売業 0.0 (前期比±0)、小売業△20.0 (前期比±0) が横ばい、**製造業のみ△35.7 (前期比△12.6) と悪化**しており、製造業の中でも食品関連の業種において悪化していることから、原材料価格の高騰等によるものと推測されます。

◆人手不足判断 D. I. (南房総地域)・設備投資実施企業割合 (南房総地域)◆

人手不足判断 D. I. を見ると、全国・千葉県に比べて依然として低水準で推移する中で今期は△41.4 (前期比△3.2) とさらに悪化しており、業種別では**製造業△57.1 (前期比△26.3)、サービス業△50.0 (前期比△19.2) での人手不足が深刻化**しています。

一方、設備投資企業割合は 29.5% (前期比+0.7) と若干増加しており、**全国・千葉県に比べて引き続き高水準**を維持しています。

◆特別調査「混迷する経済社会情勢と中小企業経営」について◆

「最近の経済社会情勢について特に懸念していること」については、南房総地域では「エネルギー (原油・天然ガス等) の価格高騰 (63.8%)」、「エネルギー以外 (原油・天然ガス等) の価格高騰」(49.3%)、「人手不足・人件費上昇」(34.8%) となり、**原材料価格の高騰が大きく懸念される結果**となりました。

さらに、「最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格による収益への影響」については、「危機的な悪影響がある」(2.9%)、「かなり悪影響がある」(25.7%)、「多少悪影響がある」(58.6%) と、程度の差はあるものの合計で **87.2%が悪影響**を受けている結果となり、全国の 77.5%を上回る結果となりました。

また、経済社会の混迷の中、政府からも賃上げ要請がされている状況で「賃上げを実施した」企業は、全国の 31.8%に対し、南房総地域は 41.6%となりました。賃上げを実施した理由の内訳は、「**従業員の待遇改善**」(29.2%) が最も多く、次いで「自社の業績改善を反映」(6.2%)、「政府の賃上げ要請」(4.6%) となりました。

一方、「賃上げを実施しなかった」企業は、全国の 68.2%に対し、南房総地域では 58.4%となりました。賃上げを実施しなかった理由の内訳は「自社の業績状況」(24.6%)、「景気見通しが不透明」(20.0%) となりました。

新商品や新サービスの展開で活用可能性のある補助金として、「事業再構築補助金」があり、第7回公募が令和4年7月1日(金)より開始されています。通常枠については、補助額100万~8,000万円、補助率2分の1~3分の2で、「事業の再構築を行うこと」等が対象となります。また、第7回公募より原油価格・物価高騰の影響を受けた事業者向けに「緊急対策枠」が新たに設けられました。

補助金の申請については、当金庫が提携をしている千葉県中小企業診断士協会のご紹介も可能ですので、当金庫営業店にお声掛け下さい。

※本景況レポートは、当金庫営業店ロビーの金利表示ボード画面及び房日新聞電子版(QRコード掲載)にて動画による解説を行っております。

混迷する経済社会情勢と中小企業経営について ※抜粋

最近の経済社会情勢について特に懸念していること(最大3つまで)

項目	全国	南房総	「最近の経済社会情勢について特に懸念していること」については、「エネルギー(原油・天然ガス等)の価格高騰」が最も多く、全国・南房総地域ともに過半数を占める結果となった。 次いで、「エネルギー以外(原材料等)の価格高騰」となり、懸念していることは、資源価格及び原材料価格の高騰であることが鮮明となった。 また、「人手不足・人件費上昇」と回答した割合が、全国の23.5%に対し、南房総地域は34.8%と高く、南房総地域での人手不足感が窺える。
エネルギー(原油・天然ガス等)の価格高騰	53.4%	63.8%	
エネルギー以外(原材料等)の価格高騰	46.1%	49.3%	
原材料の仕入れ不可能	25.8%	23.2%	
コロナ長期化による需要急減	30.7%	24.6%	
人手不足・人件費上昇	23.5%	34.8%	
その他(国際情勢等)	26.5%	36.2%	
特に懸念しているものはない	6.4%	4.3%	

最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇による収益への影響

項目	全国	南房総	項目	全国	南房総	「最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇による収益への影響」については、程度の差こそあるものの、「危機的・かなり悪・多少悪」を合計すると、全国では77.5%、南房総地域では87.2%が悪影響を受けている結果となった。
危機的な影響	1.8%	2.9%	むしろ好影響	0.2%	0.0%	
かなり悪影響	21.5%	25.7%	わからない	6.8%	1.4%	
多少悪影響	54.2%	58.6%	その他	0.1%	0.0%	
影響はない	15.3%	11.4%				

政府からの賃上げ要請に対する自社の実施状況

項目	全国	南房総	「賃上げの実施状況」については、実施した企業が全国31.8%、南房総地域41.6%となっており、一方、実施しなかった企業が全国68.2%、南房総地域58.4%と、全国・南房総地域ともに実施しなかった企業の方が高い結果となった。 また、実施した企業の内訳を見ると、全国・南房総地域ともに「従業員の待遇改善」が最も多く、これは売上額判断や収益判断D.I.が増加する中、人手不足を改善するための対策であると窺える。 なお、これまでに賃上げを実施済みの企業の割合は、全国8.3%に対し、南房総地域1.5%と、全国に比べて低い結果となった。	
実施した	31.8%	41.6%		
内訳	政府の賃上げ要請	2.8%		4.6%
	自社の業績改善を反映	5.7%		6.2%
	同業他社、地域他社の賃上げ	2.1%		1.6%
	従業員の待遇改善	20.3%		29.2%
実施しなかった	68.2%	58.4%		
内訳	これまでに賃上げを実施済み	8.3%		1.5%
	景気見通しが不透明	22.2%		20.0%
	自社の業績状況	22.1%		24.6%
	賃上げを検討したことがない	13.8%	12.3%	

<調査の概要>

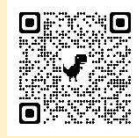
- ①調査時点: 令和4年(2022年)6月1日～7日
- ②調査方法: 当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。
なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法: 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④調査地域: 当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業: 全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数: 全国15,252企業(有効回答数13,770企業・回答率90.2%)
千葉県326企業(有効回答数308企業・回答率94.4%)
南房総地域 70企業(有効回答数70企業・回答率100%)
※18年3月期に当地域の標本数34から70に変更しています。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。

内房地区 おすすめ お宿特集

オーベルジュ すなだ 様

〒299-2223
南房総市高崎1298-1
0470-57-2378
✉ o-sunada@awa.or.jp
<http://www.awa.or.jp/home/o-sunada/>



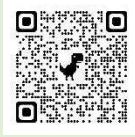
【お宿から】

自然豊かな広い敷地の施設です。
お料理は、女将こだわりの自家製野菜・お米・味噌、お魚は各シーズン江戸前近隣漁港より仕入れた豪華船盛でお楽しみください。
千葉県特産初夏の味覚、「房州びわ」の栽培も行ってあります。



海と夕日と展望風呂の宿 民宿おしなや おしなやワン・わんコテージ 様

〒299-2117
安房郡鋸南町勝山413-10
0470-55-0426 (担当: 黒川)



【お宿から】

おしなやワン・わんコテージは一棟貸しです。
ペット連れのお客様や、ご家族だけの空間で、ゆっくりお過ごしいただけます。



野の花の宿 あさゆまの木 様

〒299-2216
南房総市久枝763
0470-57-3906 (担当: 川崎)
<https://www.asayumanoki.jp>



【お宿から】

約1,700坪の敷地で自然を満喫・星空を眺めながらの貸切風呂・海辺の民宿料理を心ゆくまでご堪能ください。

BAYSIDE KANAYA 様

〒299-2861
富津市金谷2171
0439-27-1415 (担当: 星野)
✉ asami.hoshino@bayside-kanaya.com



【お宿から】

お夕食には、千葉県産の食材をふんだんに使用したバーベキューをご用意。
大切な人や、愛犬・愛猫と一緒に、ワンランク上の贅沢なひとときをお過ごしください。



南房総総井海岸 浜辺の宿 まごえむ 様

〒299-2216
南房総市久枝742-2
0470-57-2045 (担当: 川崎)
✉ y@magoemu.com



【お宿から】

いつもとは違う、「浜辺の宿ならではの食」。
露天風呂では星空を眺めながら、海風に優しく包み込まれます。

サンセットブリーズ保田 様

〒299-1909
安房郡鋸南町大六1032
0470-55-3707 (担当: 松田)
<https://sunset-breeze.com>

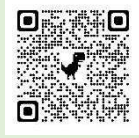


【お宿から】

合宿・研修・グループ旅行をサポートする、リゾート合宿所です。
最大180名の宿泊が可能！
充実の合宿施設と設備、美味しいお食事をご用意して、みなさまをお待ちしております！

仲間の宿 川きん 様

〒299-2216
南房総市久枝749
0470-57-2150 (担当: 川崎 敬)
<https://www.kawakin-iwai.com/>



【お宿から】

岩井海岸からの心地よい浜風に気分も爽快♪
素朴で普段使いができる“仲間の宿”です。
ありのままの『自分時間』をお過ごしください。



旅館 弁天鈿泉 様

〒299-2224
南房総市小浦487
0470-57-2528 (担当: 鈴木康幸)
✉ bentenkousen@yahoo.ne.jp
<http://www.bentenkousen.com>



【お宿から】

1日4組限定！心を癒す小さな宿です。
海一望の露天風呂と、色の変わる温泉に、地魚メインの和食フルコースが堪能できます。
メゾネット式の露天付客室もごさいます。



紀伊乃国屋 様

〒299-2118
安房郡鋸南町竜島971-2
0470-55-1571 (担当: 薄井芳之)
✉ info@kiinokuniya.jp

【お宿から】

千葉県安房郡鋸南町で6つの旅館と日帰りサウナを営んでおります。
皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

